PROCESSMIND 学習ポスター

BPMN 2.0 リファレンス

Business Process Model and Notation

どんなプロセス図でも読める4つのルール、ProcessMind がサポートするすべての要素、1つの実例、そしてつまずきやすい5つの間違い。

PROCESSMIND

01 図形はステップ
角の丸い四角形は作業です。タスク、またはさらに手順を隠したサブプロセスです。

02 矢印は順序
実線の矢印は次に何が起きるかを示します。破線の矢印は参加者間のメッセージです。

03 プールは担当者
1つのプールは1人の参加者。中のレーンが役割ごとに作業を分けます。

04 ひし形は判断
中の記号が、経路の分岐や合流のしかたを示します。1つ、複数、またはすべてです。

1 アクティビティ
行われる作業

アクティビティは作業の単位です。単一のステップにはタスク、関連するステップをまとめるにはサブプロセスを使います。

タスクの種類

タスク / ユーザータスク / 手動タスク / サービスタスク / 送信タスク / 受信タスク / スクリプトタスク / ビジネスルールタスク

タスクの種類は、誰が（何が）作業を行うかを示します。種類のないタスクは未指定です。

アクティビティの種類

サブプロセス / イベントサブプロセス / アドホックサブプロセス / トランザクション / 呼び出しアクティビティ / 展開したサブプロセス

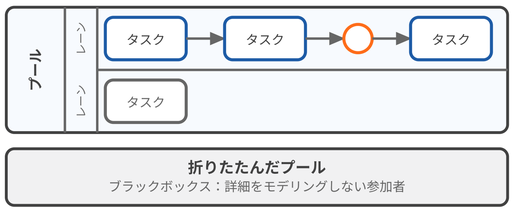
折りたたんだサブプロセスは内容の代わりに＋記号を表示します。太い枠は再利用可能なプロセスの呼び出しを示します。

アクティビティマーカー

サブプロセス / ループ / マルチインスタンス（並列） / マルチインスタンス（順次） / 補償 / アドホック

マーカーは組み合わせられます。サブプロセスは同時にループかつマルチインスタンスにできます。

2 プールとレーン
誰が責任を持つか



プールは 1 つの参加者（組織・役割・システム）です。レーンは責任ごとに分割します。シーケンスフローはプールの境界を越えず、メッセージフローは必ず越えます。

3 イベント
起こること

イベントは円で表します。枠線はいつ起こるか、アイコンは何が引き起こすかを示します。表は ProcessMind がサポートするすべての組み合わせです。

イベント	意味	開始 プロセスを開始	中間 キャッチ	中間 スロー	終了 プロセスを終了	サブプロセス開始 中断あり	サブプロセス開始 中断なし	境界 中断あり	境界 中断なし
なし	種類のないイベント：開始、状態変化、終了。	○	·	◎	●	○	·	·	·
メッセージ	他の参加者からのメッセージを受信または送信します。	✉	✉	✉	✉	✉	✉	✉	✉
タイマー	日時、期間、繰り返しのサイクル。	🕒	🕒	·	·	🕒	🕒	🕒	🕒
エスカレーション	上位の責任レベルへエスカレーションします。	⅄	·	⅄	⅄	⅄	⅄	⅄	⅄
条件	ビジネス条件が真になったときに反応します。	≡	≡	·	·	≡	≡	≡	≡
リンク	ページ外コネクタ。1 つのスローが 1 つのキャッチに対応します。	·	⇨	➡	·	·	·	·	·
エラー	名前付きエラーをキャッチまたはスローします。	·	·	·	↯	↯	·	↯	·
キャンセル	キャンセルされたトランザクションに反応します。	·	·	·	✕	·	·	⊠	·
補償	補償を処理またはトリガーします。	·	·	⏪	⏪	⏪	·	⏪	·
シグナル	ブロードキャスト。1 つのスローを複数回キャッチできます。	△	△	▲	▲	△	△	△	△
マルチプル	セットのうち 1 つをキャッチ、スロー時はすべてを一度に。	⬠	⬠	⬟	⬟	⬠	⬠	⬠	⬠
パラレルマルチプル	セット内のすべてのイベントが発生する必要があります。	✣	✣	·	·	✣	✣	✣	✣
ターミネート	プロセスインスタンス全体を直ちに終了します。	·	·	·	●	·	·	·	·

○ 開始：細い枠線 1 本　◎ 中間：二重の輪　● 終了：太い枠線　○ 破線：中断なし　· グレーのセル：BPMN 2.0 で無効なため未モデリング

4 ゲートウェイ
経路が分岐・合流する場所



5 データとアーティファクト
作業が読み書きするもの



データオブジェクトとデータストアはデータ関連でアクティビティに結び付けます。3 本線のマーカーでデータオブジェクトがコレクションになります。

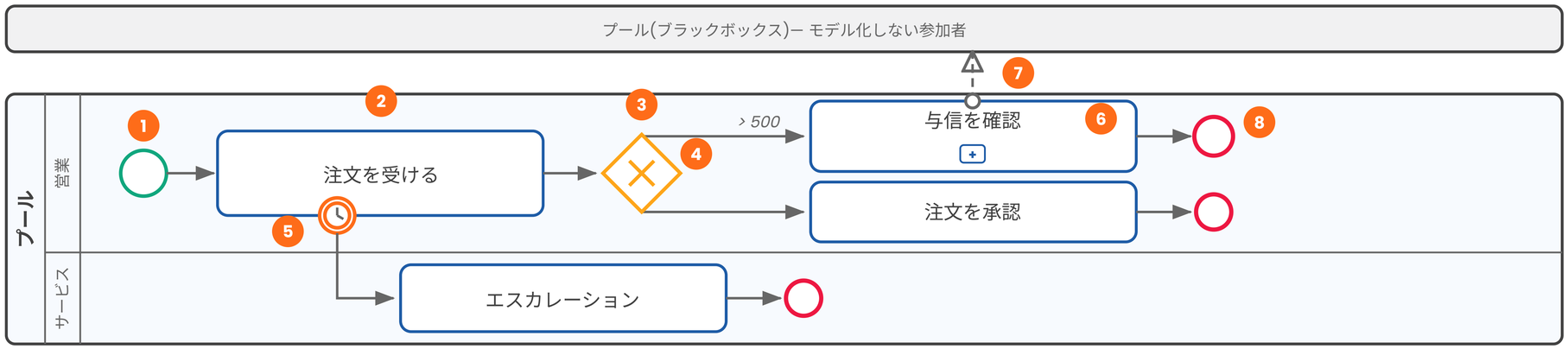
テキスト注釈はモデルの一部を説明し、グループは要素を囲み名前を持ちます。

6 接続
要素同士の関係



シーケンスフローは 1 つのプール内にとどまり 2 つのフロー要素を結びます。メッセージフローは必ずプール境界を越えます。

7 1つの注文を左から右へ読む
番号の付いた各要素をここで見つけ、上の表でもう一度確認しましょう



1 開始イベントがプロセスを開きます。ここには何も流れ込みません。
2 ユーザータスクは人が行う作業です。
3 排他ゲートウェイ。中のXは、ちょうど1つの分岐だけが続くことを意味します。
4 条件は外向きのシーケンスフローに書きます。
5 タスクの境界タイマー。ステップが長引くとこの経路が発動します。
6 折りたたまれたサブプロセスは、中身をプラス記号の後ろに隠します。
7 メッセージフローは別の参加者へメッセージを運びます。同じプールの内部では決して使いません。
8 終了イベントがこの経路を閉じます。プロセスには複数あってかまいません。

8 つまずきやすい5つの間違い
ProcessMind のモデル品質チェックは、まさにこれらを探します

1 **プールの外に出るシーケンスフロー**
順序はプールの内側のものです。プール間ではメッセージフローにする必要があります。

2 **分岐が1つだけのゲートウェイ**
判断には少なくとも2つの外向きフローが必要です。なければ判断になりません。

3 **決して発動しないイベント**
トリガーのない開始イベントは、メッセージ・タイマー・条件の欠落を意味することがほとんどです。

4 **名前のないタスク**
動詞と目的語を書きます。「承認」ではなく「請求書を承認」。

5 **合流のない分岐**
並列分岐には並列合流が必要です。ないとトークンが最後にたまります。

PROCESSMIND © ProcessMind

記号は OMG BPMN 2.0 仕様に準拠